

発行所
 カトリック福江教会
 広報委員会
 五島市末広町 3-6
 ☎ 0959 (72) 3957
 ●ホームページ●
<http://fukuechurch.jimdo.com>

第一声は？

主任司祭 中村 満

キリストが人々の前で語りかけた第一声は何だったかなどと考えることは、まずないかもしれない。しかし、調べてみる価値はあるかもしれないと肯定的に考え、四福音書を実際に開いてみるとまだまだ勉強不足だと気付かされる。四福音書の中で最初に編纂されたと推定されているのはマルコ福音書だが、「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」。これがキリストの第



一声として記されている。マタイ福音書では「今は、止めないでください。このように、なすべきことをすべて果たすのは、わたしたちにとって正しいことです」となっている。ルカ福音書では「どうして、わたくしをお捜しになったのですか。わたしが父の家にいるのはあたりまえでしょう。ご存じなかったのですか」である。ヨハネ福音書では「何を求めているのか」が第一声である。こ

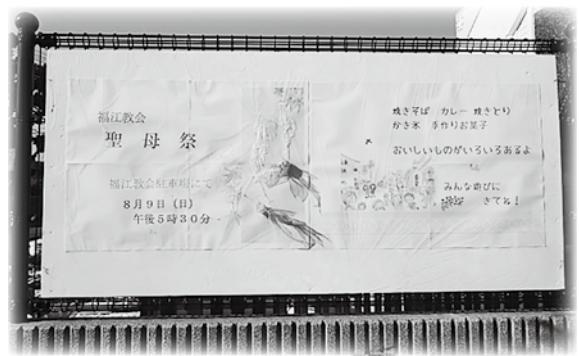
れらの言葉がどのような文脈のなかで発されているかが重要であるが、第一声という点から抽出しただけでも四者四様であり、それぞれに意図があつて編纂したと容易に察しがつく。中でもマルコ福音書の第一声は、キリストの宣教活動でのさ

まざまな宣言と活動の要約として記したと考えることができるのではないかと思っている。神の国を宣べ伝えること、福音を伝えることがキリストの使命の柱だったから。ところで、神の国は辞書で引くと「神の支配」という意味だと表

記されている。原語のギリシャ語では神の国は「*Basileia tou Theou* (バシレイア・トゥー・テウー)」となっている。テウーは神の意。トゥーは前置詞で、のの意。バシレイアは国の意。バシレイア(国)を日本語で「支配」と訳しているが、「支配」と訳した人は本当にすごい、素晴らしいと私は感じ入っている。神の国とは何かについて納得したからである。なぜなら、支配をそれぞれ一字ずつ訓読みすると、支は「支える」と読み、配は「配る」と読む。「支えを配る」のがバシレイア、国。神が支えを配ってくださるのが神の国であると解することができる。神が支えを配って下さる。そうだとすれば、当然そこには救いが実現するはずである。神の支えに勝るものは何もないから。神が配って下さる支えがあると知ったならば、誰でもその支えをくださいと願うことだろう。その支えが具体的に何であるかを説き明かすためにマルコ福音書は十六章をかけて

説こうとしたと考えることができよう。

第一声のもう一つの内容は、「福音を信じなさい」である。福音の原語は、「*euangelion* (エウアンゲリオン)」であるが、「よい」(エウ)と「知らせ」(アンゲリオン) から成る合成語で、元来は「よい便り、よい知らせ」を意味する。日本語ではエウアンゲリオンを「福音」と訳し、「よい便り、よい知らせ」の意と表記している。ただ、そもそも「良い」とは何を意味しているのか。よい便り、よい知らせとは何のことを言っているのか。主な答えの一つとされているのは、エウアンゲリオンとは「戦勝の知らせ」のことだと言われる。戦いをして、戦いに勝ったことを知らせる「勝った」という知らせが「エウアンゲリオン」だと。ローマ帝国が平和な時代になると王子や皇帝の誕生、成年、即位などを指して使われたとも言われる。新約聖書では福音書(十二回)とパウロ書簡(四八回)を中心に合計七六回用いられ、福音宣教の行為そのものと宣教の自身を指す場合に使われている。いわば「福音」は、イエス様ご自身であり、その生涯であり、もたらしてくださった一切を指している。第一声はキリストを深く知り、キリストにさらに近づく良き手がかりなのである。



●暑い中の焼き物は大変！
ビールがすすむ！

聖母祭&夜市 2015

八月九日(日) 午後五時半より

恒例の聖母祭・夜市が行われました。今年は中村神父様、小島神父様が春から着任されたこともあり、信徒との親睦を深める事をテーマに掲げて準備を進めてきました。また、今回は聖母祭の看板を教会の外にも見える様にして、信徒でない方にも気軽に参加出来るように呼びかけました。

当日は晴天に恵まれ、たくさんの方に集まって頂きました。評議会役員をはじめ、準備や片づけに携わった全ての皆さん、暑い中を本当に御苦労さまでした!



●中村神父様のトークに会場が盛り上がりました!



●毎年飛ぶように売れる! シスターのお菓子販売



●今年もシスターの歌声が祭りに花を添えました!



●高校生会など新たにサポートして頂きスムーズな対応が出来ました!

お知らせ

◆毎週日曜日の2番ミサ前のお祈りを、5分前倒しして8時15分より開始としています。(ミサ開始前の聖歌練習の時間確保のため)

◆ミサ(特に日曜の二番ミサ)の時、聖堂後方に信徒が集中し前方の席はガラガラに空いていることが良く見られます。今後は評議会委員から率先して前の方に着席するようにします。各人が、いつもより前に、を意識して着席をお願いいたします。

◆広報誌「こころ」を松山町の聖マリア病院に置かせてもらえるようになりました。設置場所は病院待合室の診察室前です。診察待ちなどの時間に手に取ってご覧下さい。

小学生黙想会

去る 7 月 27 日（月）に下五島地区小学生黙想会が福江教会にて行われた。テーマは「ヒキツゴウ！〜神さまの教えを守った人たちにならって〜」

このテーマをもとに各教会の子どもたちは、あらかじめ自分たちの教会の歴史を学習し、他の教会の子どもたちに自分たちの教会を紹介できるように、紹介する内容を絵や紙芝居の形にまとめて



きていた。低学年の子どもたちには少し難しかったかもしれないが、それぞれの教会には必ず歴史があり、神さまと共に教会を守り続けてきた人たちがいたという事を見たり、聞いたり出来た。とても充実した 1 日だった。

また、昼食には中村神父様と地区の女性部の有志の方々によってカレーやトウモロコシがふるまわれた。子どもたちは皆、喜んで食べており、感想文にも「カレーが美味しかった」という内容が一番多く書かれていた。この場をお借りして、協力いただいた皆様にお礼申し上げます。

《黙想会感想文》

◆ 2年 あらい川ゆめ

いろんな教会の発表をして、いろんな教会を知りました。もっと教会のことを知って見て、みんなに教えたいです。

わたしは、とてもたのしかったです。またあるといいなあと思いました。わたしは、教会がとても大好きになりました。おいのりが大好きです。

◆ 6年 柿山葵

いろいろな教会の人たちと、ふれあえてよかったです。とても楽し



かったです。各教会の発表を聞いて、「えっ。そんなんだ」と思いました。私のわからない事があり、とても勉強になりました。

屋食のカレーもすごくおいしかったです。

今年で小学生のもく想会は終わるので、たくさん楽しめてよかったです。

◆ 6年 宮崎圭汰

下五島の教会のことを知れて良かったです。ぼくは、教会を大切にしないといけないということを改めて思いました。

あと、最後のゲームでは、1位になり、いい思い出になりました。

教会内外・墓地清掃

八月二日

（日）教会内外・墓地清掃が行われた。聖母被昇天の祝日を控えた清掃にはとても暑い日であつたが、神父様も加わり熱心作業する信徒達が見られた。ルルドの聖母像周辺は樹木やツタなどを手作業で丁寧に取り取り見栄えもスッキリとした。



このところの参加者は年配者が中心ですが、子ども達や若い人も遠慮なく参加して欲しいものです。作業後に頂くジュースは格別ですよ。



カテキスタおすすすめ! 絵本・書籍紹介

日頃から子どもたちの信仰教育に携わっているカテキスタのシスターの皆さんに、子どもたちにおすすすめの絵本・書籍を4冊紹介してもらいました。どれも良い本ですが、④のコミック本は中高生だけでなく大人も楽しく読めて、宗教への興味を持つきっかけになりそうな一冊です。

今回紹介した本は、全て書店やインターネット等で注文し購入可能なものです。ご両親や祖父母の皆さん、プレゼントにいかがですか？

※各絵本・書籍の紹介文はインターネットから一部引用しています。

▲幼児向け▼

①「かみさまからのおくりもの」

ひぐちみち子作

こぐま社 1, 296円

誕生のとき、神さまが一人ひとりの赤ちゃんにくださる贈り物。それはその子の個性。

子どもは、自分のもらったものに気づき、親は、子が授かった感謝の気持ちに立ち返る印象的な絵本。



▲小学生向け▼

②「新約聖書物語」

臨田晶子著 小野かおる絵

女子パウロ会 ② 1, 404円 ③ 1, 512円

② 新約聖書に忠実に沿いながら、聖書について全く知らない日本



の子どものために、歴史的・宗教的背景を簡潔に添えて、イエスの言葉と行いをやさしく物語り、その愛と十字架の意味を浮き彫りにします。翻訳本でなく、日本人のシスターによる聖書物語で、自信をもっておすすすめできます。

③旧約聖書を断片的に知っている子どもは、日本でも多いようです。



す。たとえば、ノアの箱舟とかバベルの塔とか、エデンの園、巨人を倒したダビデの話など…。けれども、旧約聖書全体となると新約聖書の4倍はあり、日本語訳では、2000ページを越えてしまいます。(中略)この「旧約聖書物語」は、歴史的状況を簡単に要約しながら、信仰の書としての聖書が意図する

メッセージの中心を、しっかりと捕らえて魅力的です。

「世界と人類の歴史として聖書を読んでほしいです。それはこのように始まり、いつか、神のご計画どおり完成するでしょう。そのなかで、一人ひとりの人間は、とても短い時間、意味もなくこの世に現れて消えて去るものではなく、けっしてありません。永遠の完成に向けて、ユニークな『わたしの場』を与えられているのだ」という著者の思いが伝わってきます。この一冊を読んで、旧約聖書に親しんでみませんか。

▲中高生向け▼

④「聖☆おにいさん」

第一巻〜第十一巻

中村光作 講談社 596円

目覚めた



人ブツタ、神の子イエス。世紀末を無事越えた二人は、東京・立川でアパートをシェアし、下界でバカンスを過ごしていた。近所のおばちゃんのように、細かいお金を気にするブツタ。衝動買いが多いイエス。そんな『最聖』コンビの立川デイズ。(オリエンズ宗教研究所から出版されている「福音宣教」でも紹介されました。)

今後の日程

● 9月13日(日)

下五島地区研修会

(午後1時〜福江教会にて)

内容・司教団平和メッセージ

の解説

● 9月20日(日)

聖ミカエル 中村神父様霊名祝日

● 9月20日(日)

敬老祝賀会

(2番ミサ後 信徒会館にて)

対象者:75歳以上

(昭和15年9月30日までにお生まれの方)

編集後記

まだまだ暑い日が続いていますが、みなさま体調を崩していませんか? 屋外だけでなく、室内にいても熱中症になるそうです。こまめに水分を採り、たっぷり寝て、三食しっかり食べるのが良いそうです。神様から頂いた体を大切にして残暑を乗り切り、元気に秋を迎えたいですね。

それにしてもこの時期、教会の冷房がとてありがたく感じます。

感謝 (K)